

令和5年(2023)度 0号地活動報告 (案)

- 4月
- ・5日、0号地定期総会で活動計画などと共に新役員として、代表・鈴木孝雄、副代表・加藤勝造、中川則子、会計・大野裕子の新体制が選出・承認された。また、保全会役員には三好誠が選出、加わった(会計・大野は0号地のみ)。
  - ・活動計画では定例の活動に加え、来年度がトラスト協会創立40周年に当たるため、節目であることを意識して取り組む方針とした。
  - ・1号地の「自然観察とタケノコ掘りを楽しむ」(テレビさいたまの収録、後日朝の情報番組で放映)の応援6人、クラフト(鉛筆ブローチ)提供
- 5月
- ・14日、5年度第一回自然塾=7号地(小川原家屋敷林)見学と自然観察
  - ・クラフト==鉛筆ブローチ継続制作、杉玉制作へのアプローチ
- 6月
- ・15日、5年度第二回自然塾=9号地(掘兼・上赤坂の森公園)見学と自然観察
  - ・クラフト==鉛筆ブローチ、杉玉試作
- 7月
- ・2日、幼稚園で使う七夕用の竹約15本提供
  - ・9日、14号地(三芳町平地林)での「森の散策とクラフト体験」に応援1人、クラフトはガリガリトンボ、鉛筆ブローチなど、
  - ・10月のさいたま市緑の祭典に向けての準備、スケジュール作りスタート
  - ・クラフト==杉玉試作は夏葉ではできないことが報告される、またパタパタなど作り方を継承していくための準備や試作スタート
- 8月
- ・みどりの祭典と共に11月の県庁オープンデーに向けての準備スタート。オープンデーは会場が狭いこともあってコマやメモホルダーなど小さな出展物で対応する方針をきめる
  - ・リース講座、竹細工講座への応募者減少に対し、トラスト会員だけでなく一般への告知方法の工夫、チラシ作りなどを提案⇒後日、制作したチラシをみどりの祭典、見沼秋フェスなどのイベント会場で配布
  - ・クラフト==パタパタ、鉛筆ブローチ、杉玉などを継続。

- 9月 ・みどりの祭典、出展メニュー、担当者など実施要領を決める。メニューごとに材料、準備状況チェック。人数不足から1号地などからの応援を募ることに  
・県庁オープンデーでの出展メニュー決定
- 10月 ・22日、みどりの祭典に出展  
・写真・動画コンクールの副賞検討開始
- 11月 ・14日、県庁オープンデーに出展  
・クラフト講座 Xmas リース&スワッグ、竹細工の正月飾り  
・写真・動画コンクールの副賞、候補に竹明かりなど
- 12月 ・9日、Xmas リース北本への出張講座（今年度で終了）  
・写真・動画コンクールの副賞に竹のスマホスタンドキーホルダーと決定  
・スマホスタンドキーホルダーにどんぐり坊やのイラストと緑のトラスト運40周年記念の文字をプリントするレーザープリンター購入
- 1月 ・スマホスタンドキーホルダー制作
- 2月 ・7日、写真・動画コンクール表彰式用にスマホスタンドキーホルダー30個提供  
・17日、2号地狭山湖の冬鳥探鳥会応援（応援1人、一般参加3人）、スマホスタンドキーホルダー2個提供  
・22日、ボランティアスタッフ連絡会議でスマホスタンドキーホルダーを埼玉県みどり自然課からの出席者、各号地代表、理事などに配布
- 3月 ・5年度の年間を通して活動を総括、また6年度方針など検討

以上